

別府鉄道 探訪

今年1年間、別府鉄道についてお話ししてきましたが、いよいよ最終回となりました。今回は今もなお、全国に残っている別府鉄道の車輛についてお話しします。

別府鉄道において自社製造したオリジナルの車輛は少なく、他の鉄道会社から中古で譲り受けたものがほとんどでした。そのために、当時から他の鉄道では見ることのできない貴重な車輛が走っている路線として、全国の鉄道ファンから注目され親しまれていました。

そういつた経緯もあり、別府鉄道の廃線が決定した際には、車輛の保存を求める声も多く、現在でも全国に合計6つの車輛が残されています。

しかし、実際にそれらの車輛を維持管理そして展示保存していくことは容易なことではありません。しかも、現役で活躍している車輛ならともかく、静態保存となると整備の仕方もまったく違うものとなります。個人の持ち物ではありませんし、壊れたからといって簡単に交換できるものでもありません。さらに、動かなくなってしまうものも経ってしまいますので、車体にもサビや傷みも目立ってきています。その車輛を今後も今までと同じように展示保存し続けていくためには、見学される方々のマナーが非常に重要なものとなってきます。

一人ひとりがマナーを守って、今まで以上に大切に見学・利用していただければ幸いですように、皆さまのご協力をお願いします。

鉄道まめ知識

【現存する車輛】

播磨町内に2輛、加古川市内に2輛、そして神奈川県相模鉄道(海老名市)と長野県の佐久鉄道(佐久市)へそれぞれ1輛ずつ里帰りし静態保存されています。機会があればぜひ探してみてください。

今年度の特別展開催および広報の原稿を書くにあたり、たくさんの方々にご協力・ご支援いただきました。この場を借りて深くお礼申し上げます。



▲神奈川県相模鉄道



▲長野県佐久鉄道



このコーナーに登場してくださる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画グループ

らくらく太極拳

代表 山根あさ恵さん

活動をはじめられたきっかけは？

自分の健康は自分で守るのが一番だと思い、中国古来の武術でからだを動かしています。リラクセスして、ゆったりとした呼吸で心身の調和を図っています。脚・腰、バランス感覚を養うのに、太極拳は最適だと思っています。

グループのメンバー構成は？

30〜60歳代の幅広い年齢層です。健康に関心のある人ばかりで、和気あいあいと活動しています。

活動の内容は？

入門、初級から簡化24式(太極拳の型)まで、順を追って練習します。毎月3回、第2・3・4金曜日の午後1時30分から3時まで



▲楽しく活動しています

西部コミセンで活動しています。

グループのモットーは？

健康志向と技術向上をモットーとしています。技能検定に挑戦する日も間近だと思っています。

ユニークなエピソードがあれば教えてください

6月に神戸で行われる「太極拳カーニバル交流大会」に参加します。参加するたびに他の団体から影響を受けて、もっと上手になりたいと、目標を持つことができそうです。向上心を持って活動することで、日々の練習にも張り合いが出て楽しくなるのです。

今年は表演服を着て24式太極拳をする予定でがんばっています。興味のある方は見学に来てください。



▲とても気分がおちつきます

町の人口 2月1日現在

(住民基本台帳人口+外国籍人口)

34,282人(-31人)

男...16,781人(-24人)

女...17,501人(-7人)

世帯数...12,922(+13)